

## 西大寺北地区 第3回 地域コミュニティワークショップ 概要

日時	平成27年7月11日(土) 13時30分～15時30分
場所	西大寺北地域ふれあい会館
出席者数	西大寺北地区各種市民公益活動団体等 約25名
<b>ワークショップの内容</b>	
<b>1 開会</b>	ファシリテーターを務める「場とコトLAB」の中脇健児氏から、前回の振り返りがあった。
<b>2 市からのコメント</b>	第1回及び第2回のワークショップで出された課題やそれに対する解決策等について、市からのコメントを伝えた。(詳細は別紙「意見一覧」参照)
<b>3 意見交換(抜粋)</b>	コメントに対する意見交換をした。その際に出た主な意見・課題は以下のとおりである。
(1) <u>しみんだよりへの地区情報の掲載について</u>	※発言は○=地域 □=市 △=中脇氏 ○：しみんだよりに地区の行事等を載せていただくことは難しいか。 □：担当の広報広聴課と相談していただけたらと思います。ただ、奈良市も地区が多いため、他地区との兼ね合いを考えないといけないと思います。
(2) <u>様々な補助金に関する情報の提供について</u>	△：地域の祭りやイベントの補助金について、市以外にも財団等の補助金を活用できないか。 □：市にはそういった補助金はないため、県や総務省の補助金を活用するという方法が考えられます。 △：他機関等で募集されている補助金については、随時地域に情報提供していただけたらと思う。
(3) <u>災害時に防災行政無線が聞き取れない方への対応について</u>	○：耳が不自由な方や外国人には防災行政無線の音が聞き取れない可能性があるため、そういった方々にどのように情報を伝えるかが難しいところである。
(4) <u>災害時の避難に関する考え方について</u>	○：災害時は必ずその地区の指定された避難所に行かないといけないのか。 □：原則としてはお住まいの地区の避難所となっていますが、外出の際などは近くの避難所に行っていただいてもかまわないとのこと。 ○：西大寺北地区の広域避難地は平城宮跡だが、距離的に近い西大寺北小学校に直接行っていいのか。 □：今いる場所から一番近く、かつ安全な場所に避難してほしいとのこと。
(5) <u>地区割りと小学校区割りの不一致について</u>	○：西大寺北小学校区には、一部地区割りが平城地区の町がある。自主防は基本的に自治会、つまり地区割りに基づいているため、地区割りと小学校区割りの不一致が防災訓練などの活動に支障をきたしている。以前から市には申し上げているが、地区割りと小学校区割りの是正について、市で早急に検討していただきたい。 ○：秋篠早月町自治会(平城地区)の会長が自治連合会の定例会で、どちらの小学校に避難すべきか、また防災訓練に参加すべきか相談されたことがあった。その際、子ど

もが西大寺北小学校に通学されているのならば、自治会としては平城地区でも、西大寺北地区の防災訓練に参加された方がいいと言われたそうである。また敷島町も町が広いので、通学区域は2つの小学校区に分かれるが、大きな町のため、町単独で防災訓練をされている。たしかに西大寺北地区の課題の一つとして地区割りと小学校区割りの不一致が挙げられるが、これは市に全ての対応を委ねるような課題ではなく、ある程度地域間で話し合っただけでどういった形がいいか地区の意見をまとめていかなければならない問題であると思う。

□：おっしゃるとおり地区割りは地域間で話し合っただけで、どういった形が地区としていいかを市に提示していただけたらと思う。

#### 4 まとめ

中脇氏から3回のまとめがあった。西大寺北地区には地区割りの問題や防災・避難所の問題などこの地域特有の課題があるが、地区内の事業者などにも参画してもらうことで、解決への道が開けてくることが考えられる。また、大和西大寺駅の踏切の問題など地域だけでは解決できない問題や、市と協働して解決していくべき課題については双方で対話を重ねていく必要がある。そのためにはまず地区が一つにまとまるのが大切で、そのための仕組みが地域自治協議会であると思う。今後も継続してこういった話し合いの場を持っていくことが重要である、との言葉で会議を終えた。

以上